

役員選任に係る透明性の確保について

令和5年6月16日

1. 一般財団法人 日本航路標識協会は、役員の人選に当たり、透明性、客観性を確保するために、有識者による「役員候補者選考委員会」を設置しています。

今回、令和5年6月16日開催した同委員会において、常勤の理事候補者2名を選考し、同日開催した令和5年度定時評議員会へ推薦しました。

同評議員会では、全員異議なく同候補者を理事に選任することを承認しました。

2. 令和5年定時評議員会で選任された次の理事が、第30回理事会において専務理事に選定されました。

氏名 池田 保

年齢 75歳

就任年月日 令和5年6月16日

前職 一般財団法人 日本航路標識協会 専務理事

選考理由

池田 保氏は、これまで日本航路標識協会において、専務理事として当協会の運営の円滑な推進、特に国際案件の事業拡大にその手腕を発揮し、日アセアンプロジェクトを始めとした人材育成事業が徐々に実現されてきている。これらの手腕は、当協会の健全な業務運営を推進していくうえで必要不可欠なものであり、引き続き当協会の専務理事として大いに期待できる。

また、同じく次の理事が常務理事に選定されました。

氏名 佐々木 忠男

年齢 67歳

就任年月日 令和5年6月16日

前職 一般財団法人 日本航路標識協会 事業部長

選考理由

佐々木 忠男氏は、平成29年6月から日本航路標識協会の事業部長、令和3年6月から事業部長としての業務に加え常務理事として、当協会業務運営の円滑な推進にその手腕を発揮してきた。

これらの手腕は、これからの当協会の健全な運営を推進していく上で必要不可欠なものであり、当協会の常務理事として大いに期待できる。